

## 2023 第 36 次 池田市オーストラリア派遣

私は 7 月 22 日から 8 月 2 日までの 12 日間オーストラリアに派遣されました。初めの 8 日間はシドニー、後半の 4 日間は池田市の姉妹都市であるローンセストン市に滞在しました。

### 【シドニー】

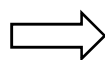
シドニーでは午前中は語学学校で同年代の方達と英語で授業を受け、午後からはシドニーの観光地に訪れたり他のクラスの方達とスポーツをしたりしました。授業では英語力の向上はもちろん、様々な国の人達とのコミュニケーションを通して様々な文化に触れることができました。午後の活動においてはシドニー市内の自然や歴史的な建物、シドニーの美しい景色を見ることができました。

### ～Junior Holiday Program Activities～

Tue



Picnic in Watson's Bay



Wed

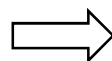


Tower Eye

Thu



Madam Tussauds



Fri



Sports

休みの日にはタロンガ動物園を訪れたり、ハーバーブリッジから夜景を見たりしました。日本では体験できないようなことばかりで見るもの全てに興味を惹かれ、一日中興奮が止まりませんでした。

## ～ホームステイ～ (シドニー)

シドニー滞在中の一週間はホームステイをしました。ホストファミリーには八橋・団子などの日本で有名なお菓子や扇子、無印のペン、フリクションなどをプレゼントしました。その中でも特に喜んでくれたお土産は無印のペンでした。日本のペンはとても書きやすいため、シドニーでも人気がある商品だそうです。



ホストファミリーとは短い貴重な時間の中で互いの家族や故郷のことなどを話したりすることで仲を深めることが出来ました。また、日本の文化である折り紙を使って鶴を折ったりして遊んだりもしました。鶴の折り方は複雑なため、とても苦戦していましたが最後はとても綺麗に出来ていました。



ホームステイ先では驚いたことや困ったことなどがたくさんありました。中でも私が印象に残っていることは、冬でも暖房をつけないし、さらには窓を全開にしているということです。これは私のホームステイ先だけではなく、実際にオーストラリアではそのような家庭が多いようです。日本では冬になると窓は閉めて暖房をつける家庭が多いため、最初はとても驚かされました。また、家の中は外の気温と同じぐらい低くとても寒いというのにホストファミリーはそれほど厚着をしていないことにも驚かされました。私は最初寒さに耐えきれず、家の中でもダウンを着るほどでしたが、だんだんと寒さに慣れていき、薄着でも生活できるほどになっていました。また、私の中でもう一つ印象に残っていることは食事です。日本のように手のこった料理を何種類も作るという訳ではなく、パスタなどの簡単な料理をたくさん作り、それを何日かに分けて食べていました。このように、日本の生活や習慣、文化とのギャップを身をもって感じる事ができ、とても貴重な体験となりました。



## 【ローンセストン】

ローンセストン市では池田市から派遣されていた教師と共に高校、大学に訪問し、90分ほどの授業をしました。高校、大学どちらも日本語の授業を受けている生徒は6人と少なく、生徒の方達との距離がとても近かったため気軽に話す事ができ、とても楽しかったです。高校の生徒さんたちは日本語を熱心に勉強している方がとても多く、簡単な日本語であれば会話をする事ができました。



授業の内容は主に池田市から派遣されている先生が勤め先の学校紹介・日本の四季の行事紹介のビデオを流し、池田市の学校の習慣や生活・日本の四季の特徴などに触れてもらいました。ローンセストン市の生徒の方達は「日本とオーストラリアにはこのような違いがあるんだ…」「この行事面白そう！」などと興味津々にビデオを見ていました。

また、ビデオを見る他に日本の文化、習慣を少しでも知ってもらうために箸の授業もしました。最初は箸の持ち方から教え、ある程度箸を動かせるようになったらものを挟む練習をしました。そして最後は2人組のペアを作ってもらい、実際にスーパーボールやビー玉を使ってどのペアがそれらをお皿からお皿に早く移すことができるのかを競うレースをしました。ビー玉を箸で挟むのは毎日箸を使う私でも困難な作業ですが、ビー玉を挟むことが出来ている生徒さんも多くいてとても驚きました。ローンセストン市の生徒の方たちは本当に日本のことが大好きな方が多くて日本人の私からするととても嬉しかったです。生徒さんの中には現在海外で活躍しているベビーメタルのファンだという方がいたり、日本のアニメが大好きだという方も多く、「日本に行きたい!」とおっしゃっていました。また、池田市とローンセストン市が姉妹都市であることや池田市との関係が長く続いていることもご存じでした。ある1人の大学生の方は今年の10月頃に池田市に旅行に来るらしく、「カップヌードルミュージアムに行く予定です!」とおっしゃっていました。池田市について学び、池田市に興味を持ってくださって本当に嬉しかったです。高校、大学訪問を通し、私も池田市でローンセストン市との関係を広め、よりその関係を深めていきたいなと改めて感じました。





また、ローンセストン市の市長に面会をしました。とてもフレンドリーな方で短い間でしたがとても楽しい時間でした。市長さんにも池田市の教師の方が作成した学校紹介のビデオを見てもらい、ほんの少しですが池田市の良さを伝えることが出来たのではないかなと思います。



### 【感想】

今回初めて海外での生活を体験し、とても多くのことを学びました。留学に行く前までは不安と緊張で押しつぶされそうでしたが、留学を通して英語が話せる話せないに関係なく話そうとする意欲を持つことが大切だということに気づきました。オーストラリアの方達は物事を前向きに捉える姿勢を持つ人が多く、これからは私もそのような方達のように何事にもポジティブに挑戦して行けたらいいなと思いました。オーストラリアは多国籍な国であるからなのか、日本人である私の容姿や生活、文化、習慣に対しての差別・偏見などが一切なく、互いを理解し合おうとする姿勢をもつ人やフレンドリーで親切な方がとても多いため不快に感じたり不安を感じるなど一切ありませんでした。

ローンセストン市の自然・人・動物に触れ、ローンセストンについて知るにつれて以前よりローンセストン市に対して興味を持つようになりました。これからも池田市とローンセストン市の繋がりを途絶えさせないよう、何か私にできることを見つけ取り組んでいきたいなと思います。

最後にオーストラリア派遣事業に携わってくださった皆さま、ありがとうございました。今回この機会を与えてくださったこと、本当に感謝しています。この留学で得た繋がりをこれからも大切にしていきたいなと思います。